



何故、ダーウィンは信仰を失ったか？ 「神の創造の美しさと進化論の虚しさ」

オラフ・カートハウス博士

CFNJ 聖書学院講師・千歳科学技術大学光科学部物質光科学科教授・
Dr.rer.nat.(理学博士)・ICF 教会会員

■人は、イエス・キリストを「精神異常者」あるいは「神の御子」とみなすことができますし、パウロの教えに従うこともできますし、それを「時代遅れ」とみなすこともできます。これは個人の選択であり、個人の決定によってどうとらえるかが変わります。しかし何といても最も論争的になるのは、聖書の最初の書巻である創世記でしょう。創造？エデンの園？世界的洪水？私たちクリスチャンは、よく次のような言葉を耳にします。「これらはただの物語だよ。教育を受け、啓発された我々人間は、これが真実でないことを知っているのだ。」しかしこの言葉は正しいでしょうか？

私は化学の博士号を持つ科学者ですが、宇宙も、植物と動物を含めた地球、そして人間も全能の神によって創られたと信じています。CFNJ 聖書学院の「創造科学」の授業を通して、科学者の考え方や、科学の性質、科学的探究について説明しましたが、科学的知識には程度の違いがあります。「重力は現実存在し、ニュートンの重力の法則は正しい。」と言うのと、「生命は 35 億年前に始まり、人間もアメーバも同じ祖先を持っているということ私たちは知っている。」と言うのは、知識のレベルが違うということを私は学生に教えます。

前者を証明するためには実験ができます。しかし後者は証明することができません。これは、神が宇宙の創造者であると言うのと同じレベルの事であり、信仰の声明なのです。驚くべきことに、最近さらに多くの天文学者、宇宙学者、素粒子物理学者が、宇宙やすべての素粒子がどのようにして存在するようになったかはわからないということ認めているのです！ある科学者はこれを知ることが不可能だとさえ言います。すべての力と粒子は驚くほどきめ細かく調整されています。これらが精密にバランスを保っているのであれば、宇宙は存在できないのです。このような事実は、創造者が存在し、また私たちの存在には意義がある事を明確に示しています。しかし生物学の分野においては、「新無神論者」と言われるリチャード・ドーキンスのように、人間はバクテリアから進化し人生には意味がないと主張する人々の大きな声しか聞こえてきません。

2009 年はダーウィンの生誕 200 年の年であり、1859 年には彼の有名な著書「種の起源」が出版されました。ダーウィンが進化論を展開したのは、なぜ深海に余りにも多くの隠された美があるのか、あるいは、なぜ自然界には余りにも多くの残酷さがあるのか理解できなかったからです。神が善ならば世界をこんなふうにしたはずがないと彼は思ったのです。ダーウィンが信仰を失うきっかけとなった最後の悲劇は彼の 10 才の娘の死でした。神は超自然のお方であり、私たちは完全には神を理解することができないということを彼は悟る事ができなかったのです。又、彼は、神の被造物を腐敗させ、苦しみを始動させた人間の墮落という事

創造科学講義



実を考慮しませんでした。

ダーウィンの進化論に疑問を持つ生物学者は笑いものにされ、大きな圧力をかけられ迫害を受けます。学校では進化論しか教えられません。私たちの存在を説明し得る他の考え方は教えられません。私は CFNJ 聖書学院の講義の中で、生きた細胞というものがいかに美しく、複雑に入り組んだものであるかを示すビデオを見せ、説明しました。細胞が生きていくためには、何千もの DNA 分子や、タンパク質、また他の複雑な化学物質がとても精密に相互作用しなければならないのです。これがすべて「何もないところから」進化したと説明することはむずかしいのです。講義の後半部分で私は、進化論を説明するのに最もよく用いられるいくつかの論点の正体を暴露します。化石の発見も、種の類似性も、種の中の変化（鳥のくちばしの大きさの変化や抗生物質の抵抗力の変化など）のどれも、進化を証明するものではありません。

CFNJ 聖書学院での講義を通して、進化と創造について話し合いができるために、学生たちに科学の基本的な知識を増進したいと考えています。学生たちが進化の「証拠」を批判的な目で見られるようになってほしいと考えています。このようにして、人々との会話の中で進化の話が出てくる時に、学生達が確信を持って答え、科学的知識を伴った、神による創造の証拠がある事を話すことによって私たちの立場をしっかりと支持することができるのです。



The Museum of Earth History アメリカ、ダラス本校、CFN 聖書学院 「地球歴史博物館」プロジェクト始動！

■テキサス州ダラス市にあるクライスト・フォー・ザ・ネイションズ (CFN) は現在「地球歴史



現在建築中の「地球歴史博物館」年内完成予定！

博物館」の開館準備をしています。この「地球歴史博物館」は、科学的展示物や恐竜の化石などの考古学的遺物、マルチメディア・ディスプレイなどを通して、聖書的地に基づいた地球の創造と歴史を楽しく学ぶことのできる施設になります。創造科学の分野における新発見についての講義なども行われる予定で、すでに 500 席の階段講堂も完成し

ており、最高レベルの映画が上映されることになっています。場所は CFN の

キャンパス内にあり、2010 年春か夏の開館を目指して準備をしています。総予算は約 6 億 4 千万円で、現在完成に必要な献金を募っています。将来は、博物館の主要な部分が完成した後、隣接地に「クリエーション・ガーデン」や「恐竜特別保存地」を開く予定であり、聖書に基づいた地球の歴史を教える博物館として大いに期待されています。